

(様式第 1 号)

## 環境技術評価に関する申請書

平成 年 月 日

地方独立行政法人

大阪府立環境農林水産総合研究所 理事長 様

(所在地)

(会社名)

(代表者名)

代表者印

地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所 環境保全推進のための技術評価及び普及に関する実施要領第 6 条第 1 項に基づき、申請します。

### 記

1. 申請技術の名称
2. 申請技術の内容 技術内容説明書のとおり
3. 申請者の概要
  - (1) 設立年月日
  - (2) 資本金
  - (3) 従業員数
  - (4) 主な事業内容
  - (5) 共同研究開発等に係る実績等
    - 「中小企業の新たな事業活動の促進に関する法律」等の法令に基づく認定・承認  
[ ]
    - 公的試験研究機関・大学との共同研究開発等  
[ ]
    - 公益財団法人 大阪産業振興機構等の事業化に係る支援事業の認定  
[ ]
    - 環境・品質マネジメントシステムの外部認証  
[ ]
- (6) 連絡担当者
  - ①担当者氏名
  - ②所属・役職
  - ③連絡方法 (電話) (F A X)  
(E-mail)

# 技術内容説明書

技術の名称	
記載内容の取扱い	<input type="checkbox"/> 技術普及の際に非公開と表示された項目を除く内容の全てを公開することに同意 <input type="checkbox"/> 技術普及の際に記載内容の一部の非公開を要求（下線部分が非公開情報）

## ① 技術・製品について

### ■技術・製品の概要

※用途、機能、適用対象等を記述してください。

### ■原理

※根本となる理論・仕組みについて記述してください。

※特許権や実用新案権、商標権など知的財産権の取得状況や取得予定について記述してください。

### ■特徴・長所

※先進性・独創性（アピールポイント、ここが新しい、独創性があると思われる点）を記述してください。

※従来技術・製品との優位性（他と比べて優れている点、強味や違いなど）とその根拠を具体的・定量的に記述してください。

## ② 環境性能に関する事項

### ■環境保全・改善効果

※環境保全・改善効果を客観的かつ明確に把握するため、従来技術との比較も交えながら、可能な限り定量的なデータにより記述してください。

### ■副次的な環境影響

※技術・製品のもたらす負の副次的影響（大気・水・騒音・振動・土壌等への影響、廃棄物の発生、資源・エネルギーの消費、大気への熱影響等）の有無とその程度、また、その影響を減少または除去する方法等について、可能な限り定量的なデータにより記述してください。

### ③ 経済性

#### ■ 初期経費と運転・維持管理費

※技術・製品の初期経費（設置・導入費用）と運転・維持管理費（運転費、保守費、管理費、維持費）及び投資回収年数について記述してください。

#### ■ 従来技術との経済性比較

※技術・製品の従来技術（競合技術）との初期経費・運転維持管理費の比較について記述してください。

### ④ その他

#### ■ 技術・製品に対する法規制及び関係法令

※技術・製品に適用される法令・指針及び業界の自主基準等の規制及び遵守状況について記述してください。

#### ■ 品質管理体制等

※ISO14001 や ISO9001、その他品質保証・管理に関する認証・認定の取得状況について記述してください。品質管理、保証に関する社内規定などについても記述してください。

#### ■ 販売実績

※過去（1年から3年程度）の販売実績（売上高と販売数量）を記述してください。